

# 令和3年第1回定例会 一般質問内容一覧

日時 令和3年3月4日（木曜日）午前9時30分～（予定） 質問順 1番から5番まで

場所 新宮町役場 3階 議事堂

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者
1番	横大路政之 議員	1) 町内の公益法人やNPO法人等への寄附を拡大させる施策を	<p>町の行政施策の一翼を担う公益法人やNPO法人等の活動資金は、国・県や町の補助金で支えられているところもあれば自己資金や構成員の拠出金・利用料収入等で賄われているところなど様々である。</p> <p>しかし、全国的には資金調達が思うように進まず活動を制限せざるを得ない組織が出ており、町内にも財政難を訴える組織があると聞いている。</p> <p>そこで、町づくりに貢献がありかつ一定の条件を満たした組織であると町長が認めた組織であれば寄附を得やすくなるような制度を導入すべきと考える。</p> <p>そこで次のことを提案する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国も推奨している寄附文化の醸成を町としても促進すべきと考える。町長の見解は。</li> <li>2. ふるさと納税制度では住民が住所地の自治体に寄附しても返礼品の対象にならないため、上記のとおり町長が認めた組織に住民が寄附した場合はふるさと納税で寄せられた寄附金を財源に返礼品を提供したらどうか。このことで組織の資金の確保・活動内容のアピールと同時に住民の寄附行動の促進につながると考える。町長の見解は。</li> </ol>	町長
2番	大牟田直人 議員	1) 小中学校のバリアフリー化・ユニバーサルデザインの推進を	<p>学校は誰もが安心して学べる施設であることが大切だと考える。障がいのある児童生徒やケガをした児童生徒が安心して学ぶためには学校のバリアフリー化・ユニバーサルデザインが不可欠だと思う。</p> <p>また、地域が支え合うコミュニティスクールである小中学校に地域の方や保護者が安心して集えるようにするためにもバリアフリー化・ユニバーサルデザインが必要だと感じる。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小中学校のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン推進の現状と今後の計画は。</li> <li>2. 児童生徒が利用できるエレベーターのない小中学校へのエレベーター設置はできないか。</li> </ol>	町長 教育長
		2) ICTを活用し、学習支援と連絡の効率化を	<p>GIGAスクール構想の実現により、今後教育へのICTの活用が進んでいくと考える。これからの教育現場でのICTの活用について次のことを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オンラインで授業の様子を配信することにより、欠席している生徒への学習支援につながると考えるが導入できないか。</li> <li>2. 遅刻や欠席の連絡など先生と保護者の連絡にICTを活用できないか。</li> </ol>	町長 教育長
3番	濱田 幸 議員	1) 清掃ボランティアの支援体制の推進を	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年のクリーン作戦は中止された。この行事は全町を挙げて町の清掃活動に取り組むことで町や地域に何らかの社会貢献をして、共にまちづくりをしていくというボランティアの精神が育つとても良い機会だと思う。</p> <p>また、各行政区では長年にわたり様々な清掃の取り組みを行っているが、地域によっては高齢化が進んだり人口減少により、活動自体が困難になってきている。</p> <p>本町では、様々なボランティア活動で支え合う社会をめざしている。今後も新型コロナウイルス感染症の影響により、大人数集まらないなどの規制が続き、清掃活動や行事が停滞することも考えられる。そこで次の3点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本町における現在の清掃ボランティアの登録や活動の状況は。</li> <li>② 町が支援し少人数で気軽に清掃ボランティアに取り組める体制の構築を図る必要があると思うが見解は。</li> <li>③ 道路や公園など自治体が所管する公共施設の美化活動を住民が「わが子のように大切に思い」自発的に行い、自治体はその活動を支援する「協働によるまちづくり」の制度であるアダプト制度を、本町でも積極的に取り組んでいくべきと思うが見解は。</li> </ol>	町長
4番	温水 眞 議員	1) 町立幼稚園の就園率を上げるための施策は	<p>令和3年度の新宮・新宮東幼稚園の11月19日現在での入園申し込み状況は、年少クラスで定員180人に対し42人、就園率は23.3%になるとの委員会報告があった。</p> <p>共働き世帯が増え、令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化の影響もあり、現状の5時間程度の幼児教育体制では働く保護者のニーズに対応できていない。町長の施政方針にも町立幼稚園のあり方を検討するとあったが、次の3点について見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 近年急激に入園希望者が減少している要因は、幼児教育・保育無償化によるものが大きいと思うが、町としての減少要因の検証と見解を伺う。</li> <li>2. 新宮・新宮東幼稚園の平成29年度と30年度の就園者数と定員に対する就園率を伺う。</li> <li>3. 令和元年度の決算で新宮・新宮東幼稚園の歳出合計は約1億3千万円、内人件費が約1億1千5百万円である。教職員等は約30人で、充実した教育体制・環境が整っていると思う。町立幼稚園の魅力をより高めるために、全ての園で延長保育を実施し、さらに満3歳児を対象にプレスクール制を導入することが考えられるが見解を伺う。</li> </ol>	町長 教育長
5番	安武 久美子 議員	1) 認知症の高齢者が、安全に暮らせるまちづくりを	<p>認知症対策は、国、自治体、事業者、住民が協力し総合的に取り組む必要がある。2019年1年間の認知症に関わる行方不明者は全国で約1万7,479人にのぼり、7年連続で増加し続けている。認知症の方とともに安心して暮らすまちづくりが急務と考え、次の4点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新宮町での認知症高齢者の行方不明事案や事故の件数は。</li> <li>2. 新宮町認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク事業「徘徊高齢者捜してメール」を実施しているが、登録対象者、登録者、配信登録者の人数と新宮町での発生件数は。また捜索の模擬訓練を拡充する必要があるのでは。</li> <li>3. 徘徊高齢者の安全確保や介護者の負担軽減を目的とした、GPS位置情報システムを用いた機器の導入や助成制度の必要性があると思うが見解を伺う。また、大阪府泉佐野市などが実施している認知症高齢者の賠償保障制度の取り組みができないか見解を伺う。</li> <li>4. 認知症の正しい知識と理解を持ち、見守りや保護に協力する「認知症サポーター」を増やすために、インターネット配信によるサポーター養成講座、古賀市が実施している認知症ジュニアサポーター養成講座、日向市が実施している図書館や公共施設に認知症関連図書を掲示するなどの取り組みができないか見解を伺う。</li> </ol>	町長 教育長

※役場、シーオーレ新宮、そびあしんぐうにおいて、議会中継を行っています。ぜひ一度ご覧ください。

※お手元のパソコン及びスマートフォンから新宮町議会にアクセスしてください。議会中継・録画配信を行っています。ぜひご覧ください。

※議場での傍聴希望の方は、当日午前9時から受付を行いますので、**役場議会事務局**へお問い合わせください。

※詳しくは、役場議会事務局 TEL 963-1737（直通）までお問い合わせください。

議会の傍聴にお越しく下さい。